

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 4 月 20 日 (2017.4.20)

【公表番号】特表 2015-511935 (P2015-511935A)

【公表日】平成 27 年 4 月 23 日 (2015.4.23)

【年通号数】公開・登録公報 2015-027

【出願番号】特願 2014-551652 (P2014-551652)

【国際特許分類】

A 0 1 N 25/00 (2006.01)

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 1 1 D 7/50 (2006.01)

A 0 1 N 25/02 (2006.01)

H 0 1 L 21/304 (2006.01)

H 0 1 L 21/027 (2006.01)

【F I】

A 0 1 N 25/00 1 0 1

C 0 9 D 201/00

C 0 9 D 7/12

C 1 1 D 7/50

A 0 1 N 25/02

H 0 1 L 21/304 6 4 7 A

H 0 1 L 21/30 5 7 2 B

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 29 年 2 月 17 日 (2017.2.17)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

N - n - ブチルピロリドンの非生殖毒性溶媒としての使用であって、ここでの非生殖毒性は、2008 年 12 月 16 日の欧州会議及びその議会の REGULATION (EC) No 1272 / 2008、そして 2012 年 11 月までの修正による評価に従う非生殖毒性である、上記使用。

【請求項 2】

溶媒としての N - メチルピロリドン (NMP)、N - エチル - 2 - ピロリドン (NEP)、ジメチルホルムアミド (DMF)、N, N - ジメチルアセトアミド (DMAc)、及びそれらの混合物からなるリストから選択される溶媒の一部又は完全な置換ための使用であって、前記溶媒が N - n - ブチルピロリドンを少なくとも 1 容量% 含む請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

少なくとも NMP、NEP、DMAc、又は DMF を含む溶媒中の共溶媒としての使用であって、前記溶媒が N - n - ブチルピロリドンを少なくとも 1 容量% 含む、請求項 1 又は 2 に記載の使用。

【請求項 4】

溶媒中の共溶媒としての使用であって、該溶媒が NMP、NEP、DMAc、又は DM

F の置換の溶媒である第 2 の溶媒を含み、前記溶媒が N - n - ブチルピロリドン を少なくとも 1 容量 % 含む、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の使用。

【請求項 5】

第 2 の溶媒が、N - エチル - 2 - ピロリドン (NEP)、1, 5 - ジメチル - ピロリドン (DMP)、ジブロピレングリコールジメチルエーテル (DPGDME)、大豆油又はコーンオイル由来のメチルエステルと乳酸エチルの混合物、ポリ (エチレングリコール) ジメチルエーテル (一般に、「ポリグリム」という)、ジエチレングリコールジエチルエーテル (一般に、「エチルジグリム」という)、1, 3 - ジオキソラン、ジメチルスルホキシド (DMSO) 及びメチル - 5 - (ジメチルアミノ) - 2 - メチル - 5 - オキソペンタノエートから群から選択される、請求項 4 に記載の使用。

【請求項 6】

溶媒が N - n - ブチルピロリドン の少なくとも 1 容量 % を含む、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の使用。

【請求項 7】

溶媒が N - n - ブチルピロリドン の少なくとも 50 容量 % を含む、請求項 6 に記載の使用。

【請求項 8】

溶媒が溶解剤、希釈剤、抽出剤、洗浄剤、剥離剤、除去剤、脱脂剤、吸収剤及び / 又は分散剤として使用される、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の使用。

【請求項 9】

溶媒が農薬製剤中で溶解剤、希釈剤又は分散剤として使用される、請求項 8 に記載の使用。

【請求項 10】

溶媒がニス、塗料及び / 又はセルロース誘導体、ビニル、アクリル及び / 又は他の樹脂に基づく別のフィニッシングの剥離剤として使用される、請求項 8 に記載の使用。

【請求項 11】

溶媒が炭素堆積物及び燃焼機関の内部からの他の燃焼生成物の除去剤として使用される、請求項 8 に記載の使用。

【請求項 12】

溶媒がポリマー材料、染料及び他の汚染物質の除去に洗浄剤として使用される、請求項 8 に記載の使用。

【請求項 13】

溶媒が、重合反応の溶解剤、希釈剤、抽出剤、吸収剤及び / 又は分散剤として使用され、またコーティング、スピニング、ラミネーティング、モールディング、押し出し及び除去工程に用いられる、請求項 8 に記載の使用。

【請求項 14】

請求項 8 に記載の使用であって、溶媒が樹脂の製造において溶解剤、希釈剤、抽出剤、吸収剤、反応媒体、及び / 又は分散剤として使用され、該樹脂はセルロース誘導体、ポリアミド、ポリイミド、ポリエステル、ポリスチレン、ポリアクリロニトリル、ポリビニルクロリド (PVC)、ポリビニルピロリドン、ポリビニルアセテート、ポリカーボネート、ポリエーテルスルホン、ポリスルホン、ポリエーテル、ポリウレタン、ポリエステルイミド、エポキシ樹脂、ポリ (アミドイミド) 樹脂、及びそれらの共ポリマーから成る群から選択され、及びエナメル被覆ワイヤーの製造におけるこれらのポリマーの適用プロセスにおける、使用。

【請求項 15】

溶媒がポリテトラフルオロエチレンポリマー及び / 又は基質上にそのようなポリマーのいずれかの連続した堆積物の製造において、溶解剤、希釈剤、抽出剤、吸収剤、反応媒体、及び / 又は分散剤として使用される、請求項 8 に記載の使用。

【請求項 16】

溶媒が化学反応又は薬剤反応を行うために溶解剤、希釈剤、抽出剤、吸収剤、反応媒体

、及び／又は分散剤として使用される、請求項 8 に記載の使用。

【請求項 17】

溶媒がマイクロエレクトロニクス製造工業で使用される、請求項 8 に記載の使用。

【請求項 18】

印刷回路板及び／又は印刷回路マイクロチップの製造工程でフォトリソスト剥離剤としての、請求項 17 に記載の使用。

【請求項 19】

溶媒が光化学プロセスで抽出剤として使用される、請求項 8 に記載の使用。

【請求項 20】

溶媒が、N - メチルピロリドン (NMP)、並びに N - n - ブチルピロリドン¹を少なくとも 1 容量 % 含む溶媒。

【請求項 21】

N - メチルピロリドン (NMP) の置換の溶媒である第 2 の溶媒を含み、及び第 1 の溶媒として N - n - ブチルピロリドン¹を少なくとも 1 容量 % 含む、溶媒。

【請求項 22】

第 2 の溶媒が、N - エチル - 2 - ピロリドン (NEP)、1, 5 - ジメチルピロリドン (DMP)、ジプロピレングリコールジメチルエーテル (DPGDME)、大豆油又はコーンオイル由来のメチルエーテルと乳酸エチルの混合物、ポリ (エチレングリコール) ジメチルエーテル (一般に、「ポリグリム」という)、ジエチレングリコールジエチルエーテル (一般に、「エチルジグリム」という)、1, 3 - ジオキソラン、ジメチルスルホキシド (DMSO) 及びメチル - 5 - (ジメチルアミノ) - 2 - メチル - 5 - オキソペンタノエートからなる群から選択される、請求項 21 に記載の溶媒。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0021

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0021】

本発明の事情で、非生殖毒性は、2008 年 12 月 16 日の欧州会議及びその議会の REGULATION (EC) No 1272 / 2008、そして 2012 年 11 月までの修正による評価に従う非生殖毒性を意味する。